

太宰府市俳句ポスト第百九回入選者

令和二年十一月十一日〜令和三年二月九日

選者 阿比留 初見

入選句

寺裏の風が見つけし寒あやめ	福岡市	山口 裕子
冬晴や祈願太鼓の鳴り渡る	福岡市	西村 芳山
師の墓に早もいろおく虚子椿	小郡市	斉田 日奈江
うれし気にみくじ結ぶ子初詣	那珂川市	池田 ひさ絵
金髪の子の口笛や鶯替へて	岡山県	矢野 啓介
待春の風総身に都府楼址	福岡市	阿部 弘子
一瞬の山日の透ける冬紅葉	福岡市	河野 京子
池に浮き沈み嵩なす散紅葉	大野城市	北 嘉与子
登り来る声の楽しき冬紅葉	福津市	柴田 佳津子
底冷にほぞの緒締めて歩きけり	太宰府市	土師 累徳
師の声のしさうな墓前水仙花	春日市	永利 五十鈴
あいさつのやうな一声初雀	太宰府市	座親 フミ子
道連れの影寄り添ひて日脚伸ぶ	福岡市	白井 道義
小さき足ちいさくはこび七五三	那珂川市	加藤 克子
テーブルに枯葉一枚茶屋の庭	福岡市	堀江 準子
環濠の水涸れ寂と都府楼址	筑紫野市	馬場 三知子
刻山に鳥語の絶えず冬日和	太宰府市	渡辺 園絵
手水舎に菊鉢あまた浮かべあり	福岡市	小野 雄史
葉っぱまで整えられし菊花展	福岡市	森 恵子
神官の升より受くる年の豆	太宰府市	有岡 和砂